

CMSC JOURNAL

Vol.15

館山/永沢組 (CMSC青森) コルディア4WD優勝

'87 JMRC東北ラリーチャンピオン・シリーズ第3戦 ふうりんナイトラリー
6月13日(土)～14日(日) 岩手250km



館山選手(右)と永沢選手。

第3戦はなんと4ヶ月ぶりの開催。昨年のチャンピオンであり、全日本ラリー選手権でも活躍している館山正嗣/永沢裕之組のコルディア4WDが、5つのSSでトップタイムをマークするという圧倒的な強さで、期待どおり優勝。CMSCからは他に福島の高橋・吉田組、山形の菅野・村上組、荒木・佐竹組、小川・斎藤組、青森の工藤・石井組が参加、上位入賞を果たした。



左からCMSC青森の永沢、工藤、大西、石井、葛西選手。



4位に入賞した高橋光男/吉田東悦組(CMSC福島)のコルディア4WD。



7位の菅野茂/村上豊組(CMSC山形)のコルディア4WD。



左からCMSC福島の藤田、高橋、CMSC青森の館山選手。この大会に出場していない藤田選手はソールド東北の情報収集に？



9位の工藤清人/石井隆夫組(CMSC青森)のランサー。



13位の荒木久一/佐竹良一組(CMSC山形)のコルディア4WD。



菅野選手と村上ナビ。

CMSC“コンクリ”に挑戦!

ミラージュカップ東北シリーズ第1戦
4月29日 祝西仙台ハイランドレースウェイ

ミラージュカップシリーズに今年新設された「東北シリーズ」の第1戦が、26台のエントリーを集めて、晴天の4月29日西仙台ハイランドレースウェイで行なわれた。「田んぼばかりじゃなくて、たまにはコンクリの上も走ってみたら。早く走る基本はどっちも同じだから」という、外川一雄会長の提案で、普段ダートで走りの腕を磨いているCMSCの面々がサーキットに挑戦することになった。開催場所が東北と限られたので、主に近県のCMSC 8支部からのエントリーになったのは、仕方がないところ。いずれ全国規模で行ないたい楽しいレースであった。成績は別表の通りである。

レースは1周3757mのコースを10周で争れる。
2コーナーを抜けてバックストレッチへ、長い直線の最後にはシケインの難所が。



CMSC岩手



「昔サーキットも走っていたんだけど、バンクが長かったからね」と、ベテラン栗田津夫さん。予選8位、決勝7位と立派な「昔取ったきねづか」でした。

CMSC仙台



マシンのセッティングは自分たちでやって、ドライバーは取引先の東洋タイヤの佐藤孝寿さんに頼んだ。「次はチーム内のドライバーで参加します」と今野保弘会長。

CMSC栃木



「予選最下位、決勝19位。完走できたからまあ満足といっておきます。連続するコーナーは意外に難しいものですね。ほくは今回で終りですと松本久雄さん。」

CMSC山形



3月15日のフレッシュマン第1戦、玩波サーキットにも遠征した小川日出生さんは、そのかいあってか4位。「それでもまだまだ走り込みが足りないね」とのこと。

CMSC福島



「マシンを運んで来て、ほんと降ろしてそのまま走ってしまった。結果、予選は1位と10秒も差が付いてしまった。いろいろ勉強になったから次は頑張るよ」と上泉晃祥さん。

CMSC群馬



チーム内に乗りたいたい人が多いという群馬は、どうやら4戦をそれぞれ別のドライバーで闘うらしい。「入賞したら次も乗れるというのどう?」と、荒井信介さん。

CMSC山形

CMSC山形ダートトライアル 山形県ダートトライアルシリーズ第1戦
4月12日(日) 山形県自衛隊演習場特設コース



スタート計時のオフィシャル。

木全蔵氏からのアドバイスもあって、大成功でした

モータースポーツの、いっそうの充実・拡大を目指して行なわれる県シリーズ第1戦を開催しました。当日は肌寒く雪がちらつくほどでしたが、90台ものエントリーがありました。コースは、昨年でも使わせていただいた東根の神町自衛隊敷地内に、スラローム、S字などを設けた約2.0kmのテクニカルなものを作りました。

三菱車の参加は、BIIクラスにコルディア3台が出場。小野馨選手が1分54秒633で5位に入賞、鈴木一彦選手が1分57秒212で9位と健闘し、三菱賞の1位、2位を獲得。

表彰式では本部より参加の木全蔵氏が、各クラス優勝者に、より実践的なアドバイスをくださいました。また、全出場選手に対してもひとことコメントをしてくださいました。エントラントから「とても参考になった」など好評でした。おかげさまで大成功のうちに幕となりましたが、強風と寒さの中、本部の皆さまご苦労さまでした。

(CMSC山形/佐藤正博)



左から三菱賞1位・小野馨選手、2位・菅原春樹選手、3位・鈴木一彦選手。



広々としたコース。カーナンバー32は三菱賞1位を獲得した。



レディス賞の古沢靖子選手。



本部から参加の木全蔵さんからポイントアドバイスがあり、好評だった。

CMSC群馬

'87 CMSCトライアルin群馬 群馬県ダートトライアルシリーズ第4戦
5月17日(日) 群馬県吉井町関越スポーツランド特設コース

2回目のイベント主催スムーズに終了

前日の雨は上がったものの、会場はドロドロの状態、予定していたコースをつくれず、約1.1kmのショートコースというやむを得ない処置になりました。9時からトライアル・スタート。参加台数が85台とやや少なかつたせいか、競技中大きなトラブルもなく、スムーズにプログラムを消化、予定より早く午後2時には表彰式が終了するというスピーディな大会でした。

三菱車のエントリーはBIIクラスに5台。結果は山口晴夫、石田徹、大和田克彦各選手のランサーターボが三菱賞1、2、3位となりました。今回で2回目の主催で、多少慣れたせいかチーム全員で楽しむ余裕を持ちながら、しかも有意義に運営できたと思います。参加選手の面々も思いっきり走れたようで、大成功といえる



いつものことだがコースの下見は念入りに。



左から三菱賞の2位・石田徹選手、1位・山口春夫選手、3位・大和田克彦選手。

でしょう。ところで、7月26日(日)にはミラージュカップの東北シリーズ第2戦スポーツランド菅生に参加しますので、皆さんよろしくお願ひします。
(CMSC群馬/林 恵一)



ミラージュカップ東北シリーズに出場するマシンも展示した。

CMSC岐阜

START NIGHT RALLY '87
JMRC中部ラリージュニアシリーズ第2戦 5月23日(土)・24日(日)

ラリー主催の経験を積むために、他クラブに協力

ジュニアシリーズの第2戦「交通遺児チャリティSTART NIGHT RALLY '87」に協力するために、クラブ員10名と友人3人を引き連れ、オフィシャルとして参加しました。

前日から雨で、スタート1時間後には雷も伴うありさま。他クラブの主催だということに雨空を見上げては心配ばかりでした。

しかし午前1時には雨も上がり、各車力走。エントリー台数も51台と、まづまづの台数がまとも、うち三菱車は8台が参加していました。ゼッケン36番、RS国盛の藤原/原組ランサーが総合2位と大健闘!です。協力クラブにとって、なんとも嬉しい結果となりました。
(CMSC岐阜/浅野博孝)



2位にカーナンバー36の藤原/原組のランサーが入賞、やったね。

自分のところの主催行事ではないのだが、やっぱり天候は気に掛かる。本番直前になって雨が上がった。